

診療科目：耳鼻咽喉科

カテゴリー：選択科目

一般目標：耳鼻咽喉科・頭頸部領域の解剖・生理に対する理解を深め、一般診療に必要な基本的技能の習得を目的とする。

【個別目標】

- 耳鼻咽喉・頭頸部の解剖と機能について述べることができる
  - ①外耳・中耳・内耳の解剖と機能
  - ②鼻・副鼻腔の解剖と機能
  - ③口腔の解剖と機能
  - ④咽頭の解剖と機能
  - ⑤喉頭の解剖と機能
  - ⑥気管・食道・頸部の解剖と機能
- 耳鼻咽喉科診察法を身につける
  - ①視診
  - ②耳鏡検査
  - ③鼻鏡検査
  - ④口腔、咽頭検査
  - ⑤喉頭ファイバー
  - ⑥頸部触診
- 耳鼻咽喉科一般検査を実施し、結果を判定できる
  - ①聴力検査
  - ②平衡機能検査
  - ③嗅覚検査
  - ④鼻アレルギー関連検査
  - ⑤超音波検査
- 以下の耳鼻咽喉科検査法の原理と適応を理解し、その結果を適切に判断できる。
  - ①画像診断検査（CT，MRI，PET など）
  - ②聴性誘発反応検査
  - ③顔面神経誘発筋電図検査（ENoG）
  - ④細胞学的検査
  - ⑤病理学的検査
- 手術の基本的原理を理解し、手技を習得する。
  - ①外耳・中耳手術（鼓膜切開術、鼓膜チューブ挿入術）

- ②鼻・副鼻腔手術（鼻骨骨折整復固定術、鼻中隔矯正術、下鼻甲介切除術、鼻内視鏡手術）
- ③口腔咽頭手術（唾石摘出術、口腔・咽頭良性腫瘍摘出術、扁桃周囲膿瘍切開排膿術、口蓋扁桃摘出術、アデノイド切除術）
- ④ラリngoマイクロサージェリー
- ⑤気管切開術

● 手術の原理と術式を理解し、手術の助手を務めることができる。

- ①鼓膜形成術、鼓室形成術
- ②上顎腫瘍摘出術
- ③舌腫瘍切除、再建術
- ④咽頭・下咽頭腫瘍摘出、再建術
- ⑤喉頭腫瘍摘出術
- ⑥気管・気管支・食道異物摘出術
- ⑦甲状腺腫瘍摘出術
- ⑧顎下腺腫瘍・耳下腺腫瘍摘出術

#### 【指導原則・方法】

1. 指導医とともに入院患者を受け持つ。
2. 指導医の外来に参加し、診療補助する。
3. 火曜日、木曜日夕方のカンファレンスに参加する。
4. 手術助手として参加する。
5. 週1回の平日当直、月2回の休日当直を行う。